

(様式3)

事業所名 グループホーム優優

作成日: 令和 6 年 1 月 9 日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	30	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保で、排泄用品(紙オムツ)の保管の仕方について居室入り口から見えている	居室入り口から排泄用品(紙オムツ)であることが分からない様に保管する。	保管用の箱にいれるか、カバーをかけて、保管する。	1ヶ月
2	6	居室入り口にマットレスを置き、居室出入り口をふさぐことについて、身体拘束であることの認識が不足している。	転倒事故防止対策が身体拘束になりうることを常に意識する。	①職員会議(月1回実施)で事故防止対策が身体拘束にならないかを話し合う。 ②離床センサーを使用し、離床時にすぐ対応できるようにする。	1ヶ月
3	29	災害対策は、地域的には火災と地震が想定される。	災害発生時、職員一人ひとりが動けるようにする。	事業継続計画の策定に合わせて、火災の他、地震を想定した訓練を行う。	3～6ヶ月
4	4	運営推進会議を活かした運営の取り組みが必要	地域とのかかわり方について具体的に意見や助言をもらう。	外部評価結果を運営推進会議や職員会議に報告し、地域とのかかわりについて話し合う。	6ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。